

**公益社団法人小豆島青年会議所**

**グローバル委員会概要**

副理事長	山西 正宣	委員長	西崎 肇志	副委員長	三木 淳史
発足に至る背景並びに現状分析	近年、情報通信技術等の発達に伴い、海外とのつながりは身近になり、多種多様な文化が交錯する複雑な時代となっています。また、瀬戸内の島々は海外から注目されており、我々の住む小豆島もインパウンドにより、海外の人々と関わる機会も増えています。言葉の壁や先入観もありますが、交流するきっかけを得やすい状況もあります。その機会を積極的にいかすべく、異文化と交流し、理解を深め、他国の多種多様な文化や価値観を受け入れる人材を育成し、地域の未来に寄与していく必要があります。				
事業内容	1) 研修事業 2) 国際交流事業				
対象者(動員目標数)	1) (公社)小豆島青年会議所正会員27名、香川ブロック各地会員会議所会員 2) 香川県立小豆島中央高等学校の学生(1~3名) (公社)小豆島青年会議所正会員27名				
手法(理由)	1) 対外: 経営者としての心得や組織作り等についての学びを得るため 対内: 経営者としての心得や組織作り等についての学びを得るため 2) 対外: 異文化と交流し理解を深めるため 対内: 青少年への国際感覚の醸成に寄与するため				
手法(目的)	1) 講演を通じて経営者としての心得や組織作り等に対するヒントを提供する 2) 青少年育成及び異文化交流				
手法(概要)	1) 講師を招いての講演の実施 2) 香川県立小豆島中央高等学校の学生と台湾の人々との異文化交流事業を台湾で実施				
パートナー	1) 講師 2) 香川県立小豆島中央高等学校、一徳青年会議所、香川県教育委員会				
効果	1) 会員の資質向上や各々の会社等での組織作りに活かすことができる。 2) 他国の文化や価値観の違いを理解し、広い観点で物事を考えることができるようになる。また、日本と他国と比較したり、他国の人々の見方を通して日本の良さも再認識できる。				

**グローバル委員会**

<事業計画>

1. 研修事業の実施(3月)
2. 国際事業の実施(8月)
3. PR(potential realize)事業の実施(通年)
4. 例会の設営(4月、6月)
5. 総会の設営(1月、12月)
6. その他

<事業フレーム>

運動・事業名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1. 研修事業の実施(3月)	引継ぎ・企画・立案	討議	企画・立案	協議	PR 実施	報告・決算								引継ぎ
2. 国際事業の実施(8月)	引継ぎ・企画・立案		企画・立案	討議	協議	審議	PR・公募・選考			実施	検証	報告・決算		引継ぎ
3. PR(potential realize)事業の実施(通年)	通年													
4. 例会の設営(4月、6月)	引継ぎ					設営		設営						引継ぎ
5. 総会の設営(1月、12月)	引継ぎ		設営											設営・引継ぎ
6. その他	通年													